

## 2019年度 独創的研究助成費 実績報告書

2020年3月3日

報告者	学科名	造形デザイン学科	職名	助教	氏名	石 王美
研究課題	アクティブシニアのコンテンツ制作を支援するプロトタイプツールキット研究					
研究組織	氏名	所属・職		専門分野	役割分担	
	代表	石 王美	造形デザイン・助教		コンテンツ・インタラクシ ョンデザイン	研究の責任者
	分担者					
研究実績 の概要	<p>本研究は高齢者の認知特性の低下やメンタルモデルに合わせ、ITC を活用出来るよう、デザインの視線から ITC を模索することを目指している。高齢のユーザー向けの様々なインターフェースを調査・分析しその結果をまとめ、中国清華大学・韓国国民大学・HCI 2020学会で発表した。</p> <p>学会等の発表</p> <p>1. 中国・北京 清華大学 The Future lab</p> <p>(1) 訪問日時 2019年12月19日(木)～12月22日(日)</p> <p>(2) 訪問目的 ワークショップのパネリスト (Selfie for 50+) と研究発表</p> <p>(3) 大学の所在地 30 Shuangqing Rd, Haidian, Beijing, 中国</p> <p>(4) 面談した方の氏名及び職位 清華大学 The Future lab 教授 Jeung Jihong The University of Sydney 助教 Callum leigh Parker Hanyang University 教授 Park Jongil</p> <p>(5) 実施内容と成果 シニア向けの「Selfie For 50+」について中国・韓国・オーストラリア・日本の大学が研究した成果をプレゼンテーションして各国の文化的な背景及び現状について共有した。また清華大学院生とのワークショップを通じて高齢者のための様々なカメラのデザインやサービスが提案された。</p>					

※ 次ページに続く

<p>研究実績 の概要</p>	<p>2. 国民大学校 Interaction Dseign lab、HCI Korea2020</p> <p>(1) 訪問日時 2020年2月9日(日)～2月14日(金)</p> <p>(2) 訪問目的 国民大学校にて学会準備の会議と Design WALK2020 in Seoul 参加・研究発表</p> <p>(3) 大学の所在地 77 Jeongneung-ro, Jeongneung-dong, Seongbuk-gu, Seoul, 韓国 262 Hanchigol-gil, Seo-myeon, Hongcheon-gun, Gangwon-do, 韓国</p> <p>(4) 面談した方の氏名及び職位 IDAS, Hongik University 教授 Nah, Ken Federal University of Prana, Brazil 助教 Aguinaldo dos Santos Lancaster University, England 教授 David Hands</p> <p>(5) 実施内容と成果 技術の発展と産業の全般が変化を続けているなかデザイナーとして行く方向性及びデザインを教える教師の役割とHCIではシニア向けのデザインについて日本の優秀なサービスや製品を事例として発表した。</p>
<p>成果資料目録</p>	<p>学会参加ポスター</p>